

# 平成30年度 丹波地域大学連携フォーラム

10年後の丹波地域を考えよう

## 報告書

平成30年11月18日（日）13:00～17:20

丹波の森公苑

主催：丹波地域大学連携フォーラム実行委員会

（関西学院大学、神戸大学、関西大学、篠山市、丹波市、兵庫県丹波県民局）



## はじめに

本年度は、「丹波の森づくり」が始まって 30 周年の節目の年になります。「人と自然と文化が調和した丹波地域（篠山市・丹波市）を「丹波の森」と呼び、大切に守り育てる。」丹波地域の住民の方々は自然景観を大切にし、地域文化の振興に取り組み、活力に満ちた地域づくりを進めています。学生の皆さんが中心となって地域を活性化しようとする取り組みも、この「丹波の森づくり」に位置付けられた活動のひとつになります。

この学生の皆さんの取り組みを県と市が支援する「学生等による地域貢献活動推進事業」は、平成 24 年度から始まり、今年度で 7 年目になります。当初は 4 団体から始まり、年々団体数が増え、今年度は 10 団体が採択されました。丹波地域の各地では、採択された 10 団体をはじめとして、地域と連携した様々な活動が展開されています。

このような状況を踏まえ、丹波地域で活動する学生グループの交流を通じて団体間のネットワークの形成を図り、それぞれの活動で生じた課題解決とともに、活動を終えた後も丹波地域との関わりを持ち続けてもらうことを期待して、「10 年後の丹波地域を考えよう」をテーマに、「平成 30 年度丹波地域大学連携フォーラム」を丹波の森公苑で開催しました。また、同日同施設内で開催された「丹波の森づくり 30 周年記念シンポジウム」において、自分たちが行っている地域貢献活動についての情報発信を来客者に向けたポスターセッションにより行いました。

フォーラムでは、最初に採択された 10 団体が各団体の活動報告を行いました。報告後には、連携団体（地域団体）からのご意見や他の団体の学生からの質疑等をいただくなど、活発な交流や意見交換が行われました。その後、「10 年後の丹波地域を考えよう」をテーマにグループ討議を実施しました。所属する団体や活動内容は違えども同じ丹波地域で同じ志を持って活動する者同士、普段行うことができない有意義な討議が行えたのではないのでしょうか。今回のフォーラムを契機として、大学や学生たちの連携のネットワークがさらに広がり、大学卒業後も丹波地域に関わりを持ち続けていただくことで、今後も地域との交流が深まり丹波地域全体がより一層活性化していくことを願っています。

最後になりましたが、このフォーラムの開催にあたり多大なご協力をいただきました各大学や地域の関係者の方々、また、当日ご参加いただきました多くの方々に、改めて深く御礼を申し上げます。



## 目 次

I.	開催状況の写真.....	1
II.	開催概要.....	6
III.	フォーラム	
1.	開会挨拶.....	10
2.	コーディネーター・司会者挨拶.....	12
3.	学生からの地域貢献活動報告	
(1)	AGLOC .....	13
(2)	Wake UP! 柏原 .....	18
(3)	地域密着型サークル にしき恋 .....	27
(4)	Bamboo Sustainable Design Project .....	32
(5)	ミライの輪 .....	37
(6)	KGU×篠山まちおこしプロジェクト .....	42
(7)	SHADECOR .....	46
(8)	神戸山手大学歴史文化ツーリズム研究会 .....	50
(9)	さじっこ倶楽部 .....	57
(10)	おくものがたり .....	63
4.	グループ討議『10年後の丹波地域を考えよう』	
(1)	主旨説明 .....	67
(2)	各班の発表 .....	67
(3)	総括 .....	69
5.	地域と連携して開発を進めているおにぎりの紹介.....	71
6.	講評	
	神戸山手大学 准教授 高根沢 均 .....	77
	(公財)兵庫丹波の森協会 丹波の森研究所 専門研究員 横山 宜致.....	78
	関西学院大学総合政策学部 教授 角野 幸博 .....	79
	神戸大学大学院農学研究科 学術研究員 木原 奈穂子 .....	79
	関西学院大学総合政策学部 准教授 清水 陽子 .....	80
	関西大学 佐治スタジオ 出町 慎 .....	81
IV.	参考資料	
1.	活動団体概要ポスター.....	83
2.	フォーラムチラシ.....	93
3.	アンケート (フォーラム) .....	97
4.	アンケート (おにぎり) .....	107
5.	学生等による地域貢献活動推進事業採択団体一覧.....	110
6.	丹波地域大学連携フォーラム実行委員会.....	113



# I. 開催状況の写真

## 【ポスターセッション・会場】



各団体ポスター



各団体ポスター



各団体ポスター



学生によるポスターセッションの様子



学生によるポスターセッションの様子



丹波地域大学連携フォーラム会場全景

【開会挨拶】



会長 出町 慎  
(丹波地域大学連携フォーラム実行委員会)

【コーディネーター・司会者挨拶】



コーディネーター 清水 陽子  
(関西学院大学総合政策学部 准教授)



司会者 青木 嵩  
(関西学院大学大学院総合政策研究科)

【学生からの地域貢献活動報告】



AGLOC  
(神戸大学／篠山市岡野地区)



Wake UP! 柏原  
(関西学院大学／丹波市柏原町柏原地区)





地域密着型サークル にしき恋  
(神戸大学／篠山市西紀南地区)



Bamboo Sustainable Design Project  
(京都大学／篠山市福住地区)



ミライの輪  
(神戸親和女子大学／丹波市山南町久下地区)



KGU×篠山まちおこしプロジェクト  
(神戸学院大学／篠山市城下町地区)



SHADECOR  
(関西学院大学／丹波市柏原町柏原地区)



神戸山手大学歴史文化ツーリズム研究会  
(神戸山手大学／篠山市福住地区)



さじっこ倶楽部  
(関西大学／丹波市青垣町佐治地区)



おくものがたり  
(神戸大学／篠山市大芋地区)

【グループ討議】



グループ討議の様子



グループ討議の様子



グループ討議の結果の共有



グループ討議の結果の共有



【地域と連携して開発を進めているおにぎりの紹介】



黒豆おにぎり



黒豆おにぎり



試食の様子



学生による商品説明

## II. 開催概要

丹波地域では、様々な大学が地域に入り、フィールドワークや農作業の手伝いなど、各地域の課題を踏まえ、それぞれ違ったテーマで学生たちが独自に地域貢献活動に取り組んでいます。

これらの学生が参加するフォーラムを下記のとおり開催し、それぞれの活動内容について相互に理解を深めるとともに、参加者全員で意見交換し、これからの活動の方向性、丹波地域と自分の未来について展望しました。

### 記

- 1 日 時： 平成 30 年 11 月 18 日（日）13:00～17:20
- 2 場 所： 丹波の森公苑
- 3 テー マ： 「10 年後の丹波地域を考えよう」
- 4 参加者数： 77 名（大学生、大学教員、学生と活動する地域の方 他）

大学生	〔 神戸大学、関西学院大学、京都大学、神戸親和女子大学 神戸学院大学、神戸山手大学、関西大学 〕	35 人
大学教員、教育関係者		8 人
学生と活動する地域の方、丹波地域の住民の方、丹波地域の企業の方等		22 人
県、市等行政職員		12 人
	計	77 人

### 5 内 容：

#### (1) 学生からの地域貢献活動報告と質疑応答

○司会： 関西学院大学大学院総合政策研究科 青木 崇 氏

- ・ AGLOC（神戸大学）
- ・ 地域密着型サークル にしき恋（神戸大学）
- ・ Bamboo Sustainable Design Project（京都大学）
- ・ KGU×篠山まちおこしプロジェクト（神戸学院大学）
- ・ 神戸山手大学歴史文化ツーリズム研究会（神戸山手大学）
- ・ おくものがたり（神戸大学）
- ・ Wake UP！柏原（関西学院大学）
- ・ ミライの輪（神戸親和女子大学）
- ・ SHADECOR（関西学院大学）
- ・ さじっこ倶楽部（関西大学）

#### (2) グループ討議（10 年後の丹波地域を考えよう）

○司会： 関西学院大学大学院総合政策研究科 青木 崇 氏

- 6 主 催： 丹波地域大学連携フォーラム実行委員会  
(関西学院大学、神戸大学、関西大学、篠山市、丹波市、兵庫県丹波県民局)
- 7 事務局： 兵庫県丹波県民局丹波土木事務所まちづくり建築課

## 8 報告概要：

### 《活動報告 1》 AGLOC

AGLOC は、「地域と世界を繋ぐ」をテーマに篠山市岡野地区で活動する、結成 3 年目で会員数約 40 名という大きな学生団体です。留学生に地域の魅力を知ってもらい、また、地域の人に異国の文化を知ってもらい、地域の活性化を目指しています。

主な活動は農業の繁忙期に行われる農業ボランティアですが、その他にも「Welcome Camp」という留学生に日本の文化を知って、味わってもらうための活動や「留学生引率」という留学生に通訳を行いながら日本の古き良き文化を知ってもらうための活動、夏休みに実施している小学生との交流活動などを行っています。

### 《活動報告 2》 Wake UP！ 柏原

Wake UP！ 柏原は、丹波市柏原町柏原地区で活動する、結成 3 年目で会員数約 7 名の学生団体です。地域団体と協力したイベントを地域の人とともに運営・実施し、地域の活性化を目指しています。

本年度は、地域の情報発信を目的として大学内で実施した「たんばかいばら展」と今年で 3 年目となる柏原の街中をライトアップする「かいばらいと」、地域の観光の活性化を目指す「リアル謎解き」という 3 つのプロジェクトを中心にありのままの柏原を見せていく活動を行っています。

### 《活動報告 3》 地域密着型サークル にしき恋

地域密着型サークルにしき恋は、篠山市西紀南地区で活動する、結成 6 年目で会員数約 170 名という大きな学生団体です。神戸大学の全 10 学部と他大学に会員がいます。「農業ボランティア」を通して地域へ貢献することを理念に、毎週土曜日と日曜日に活動を行っています。

本年度は、「農業ボランティア」と地域の耕作放棄地を活用して自ら行った「黒枝豆の生産・販売」、会員が感じたことや思ったことを形にする「プロジェクト活動」の 3 本柱で活動を行っています。「プロジェクト活動」としては、竹林を整備して竹の有効活用方法を模索する活動や獣害の認知度を上げる活動、無人駅を活性化する活動を行っています。

今後は農業ボランティアを軸にして、今後はさらに活動を広げていきたいと考えています。

### 《活動報告 4》 Bamboo Sustainable Design Project

Bamboo Sustainable Design Project は、篠山市福住地区で活動する会員数約 17 名の学生団体です。地域団体と地元高校生と連携し、「放置竹林の整備のきっかけづくり」と「間伐竹の活用（バス停・まちなみデザイン）」を通して、地域の活性化を目指しています。

本年度は、昨年度に引き続き、新たなバス停の改修を行っています。さらに、バス停の改修にとどまらず、持続的なメンテナンスの仕組みも提案しています。

最終的な目標は、2020 年に伝統的建造物群保存地区の全国サミットが行われる福住地区に対して、町並み全体のデザインを提案できればと考えています。

### 《活動報告5》 ミライの輪

ミライの輪は、丹波市山南町久下地区で活動する、結成3年目で会員数約6名の学生団体です。「農作物認知度向上プロジェクト」を通して、地域の活性化を目指しています。

本年度は、農業体験企画を企画・実施し、昨年度に引き続き、野菜のウェブ販売を進めています。さらに、久下地区の野菜販売の顧客を増やすためには農業体験ツアーなどを通して久下地区を知ってもらうことが重要だと考え、農業体験ツアーの企画も検討しています。

ミライの輪の活動や企画には地域の人の信頼と連携が不可欠であるので、信頼を失わないために定期的に久下地区を訪問して交流を続けていくことが大切だと考えています。

### 《活動報告6》 KGU×篠山まちおこしプロジェクト

KGU×篠山まちおこしプロジェクトは、篠山市城下町地区で活動する会員数約10名の学生団体です。「春日神社秋祭礼を中心に、その魅力を地域内外に発信する」というテーマを掲げ、地域の活性化を目指しています。

「地域の方との交流」と「地域資源の発掘」、「後世に繋げる記録係」、「SNSでの発信」という4つのキーワードで魅力発信を行っています。特に地域の魅力を映像や写真として記録し、今後の地域の変化を検証するための基礎資料を残すという、他の団体とは少し違った観点で活動を行っています。

1月には篠山城下町の地域の人に向けた報告会を実施し、地域に配布する広報紙を作成しようと考えています。

### 《活動報告7》 SHADECOR

SHADecORは、丹波市柏原町柏原地区で活動する会員数約10名の学生団体です。ものづくり（主にプロジェクトマップング）を通して地域に貢献し、地域の活性化を目指しています。

本年度は、Wake UP! 柏原が実施した「かいばらいと」と同時に柏原町のたんば黎明館でプロジェクトマップングを行っています。プロジェクトマップングは柏原の観光名所をテーマにしており、実際に柏原の街を歩いてインスピレーションを得たデザインとなっています。

今後はたんば黎明館だけでなく、他の場所でも実施したいと考えています。

### 《活動報告8》 神戸山手大学歴史文化ツーリズム研究会

神戸山手大学歴史文化ツーリズム研究会は、篠山市福住地区で活動する会員数約16名の学生団体です。「祭礼のお手伝い」と「獣害の資源化」、「地域の魅力を伝える」活動を通して、地域の活性化を目指しています。

本年度は、若手猟師と意見交換会を実施し、4つのお祭り（水無月祭、八朔祭、波々伯部神社祇園祭、春日神社祭礼）に参加しています。また、2月には獣害の資源化を視野に入れた「シカフェス」の開催を予定しています。さらに、地域の魅力を知ってもらうために民間企業と連携したモニターツアーの開催も検討しています。

### 《活動報告 9》 さじっこ倶楽部

さじっこ倶楽部は、丹波市青垣町佐治地区で活動する会員数約 17 名の学生団体です。空き家や空き地、使われていない資源などを活用した提案を行い実施することで、新たな風景を創り出し、地域の活性化を目指しています。

本年度は、木の単管を使った本棚やコーヒーショップ、お祭りのステージを作製した「モクタンバプロジェクト」と空き家の今後の使い方を考える「空き家キャンプ」、丹波の技術者の技術を地域外に発信する「ワークショップの運営」などを行っています。

### 《活動報告 10》 おくものがたり

おくものがたりは篠山市大芋地区で活動する会員数約 22 名の学生団体です。「旧大芋小学校の活用策を検討する資源利活用」と「地域住民間や地域内外との交流の場づくりを行う地域交流」、「農作業や農村の暮らしを経験するとともに農家と消費者を直接繋ぐなどの農業振興」を通して、地域の活性化を目指しています。

本年度は、地域の文化祭などのイベントへの参加、小学生を対象とした通学合宿などを行っています。